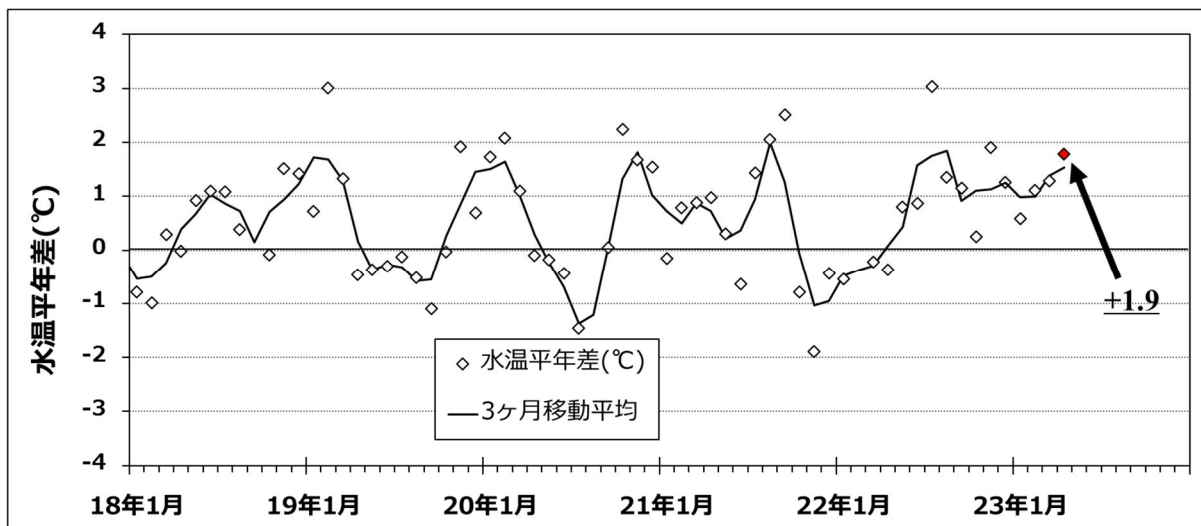


【水温の変動】

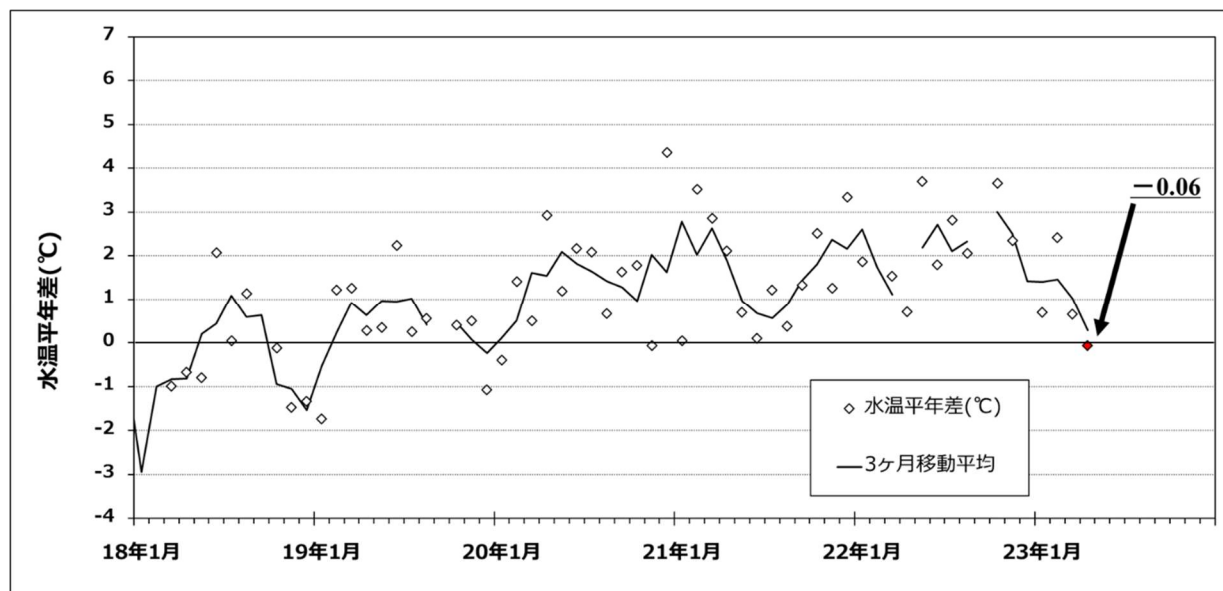
4月20、21日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+1.9°Cで高めとなっています。沖合域の水深200mでは平年差-0.06°Cで平年並みとなっています。4月21日の人工衛星画像によると、黒潮は潮岬沖の北緯31度付近から大王崎沖北緯29度付近まで南下した後、御前崎沖北緯34度付近まで北上し、東へ流れています。現在の流路は黒潮流軸の南端が北緯32度以南にあり、かつ御前崎正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。現在、御前崎沖に著しく接近する黒潮主流の影響により、遠州灘沖は高温傾向となっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深200m（A4, A12, A19の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で 16.3~21.0℃となっており、黒潮本流が接近している影響で沖へ向かうほど高温傾向となっています。水温の鉛直断面図によると、沿岸域から沖合域において、水深 50m 付近までは暖水に覆われています。クロロフィル a 濃度は、A10 の水深 30m 付近にピークがみられました。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

